

第21回

～歌と器楽の調和～

愛のリラクセーション コンサート2014

入場
無料



特別ゲスト
京都市交響楽団コンサート・マスター
渡邊 穰

今年も愛のリラクセーションコンサートを開催することになりました。
ぜひ、皆様お誘い合わせの上お越しください。

10/19 2014 日

開催時間：午後3時～

開催場所：医仁会武田総合病院リハビリセンター1階

当日、ご招待券のない方でもご入場いただけます。

プログラム

- | | |
|-------------|------------------------|
| ヴィヴァルディ | 「コンチェルト」第一楽章 |
| ブラームス | 「ハンガリー舞曲」NO.5 |
| プッチーニ | オペラ「ラ・ボエーム」より「私が町を歩くと」 |
| ケルティック・ウーマン | 「ユー・レイズ・ミー・アップ」 |
| クライスラー | 「愛の喜び」「愛の悲しみ」 |
| ドビュッシ | 「亜麻色の髪の乙女」 |
| エンニオ・モリコーネ | 「ガブリエルのオーボエ」 |
| フォスター | 「夢路より」 |
| 村井邦彦 | 「翼をください」 |
| 中田喜直 | 「ちいさい秋みつけた」 |
| | 「冬のソナタより」 |

京都市交響楽団（京響）

京都市交響楽団（京響）は、1956年の創立以来、日本唯一の自治体直営オーケストラとして「市民文化の形成と青少年の情操の向上、住民の福利の増進に資する」という理念に基づいて、我が国を代表するオーケストラとして成長を遂げてきた。06年には創立50周年を迎え、シェーンベルク「グレの歌」京都初演、国内7都市へのコンサート・ツアーなどで成功をおさめた。また、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年1月「第25回京都府文化賞特別功労賞」受賞。同年5月には記念すべき「第500回」定期演奏会を祝い、9月には「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月からは、第12代常任指揮者に広上淳一、京響初の桂冠指揮者に大友直人が就任。09年は学生からシニアまで気軽にクラシック音楽に親しむことができる「スプリング・コンサート」、子どもだけでなく大人にもぴったりのオーケストラ入門シリーズ「オーケストラ・ディスカバー」など新たな企画で注目を集め、半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。



地下鉄東西線「石田駅」下車すぐ
京都市伏見区石田森南町28-1



【特別ゲスト】京都市交響楽団コンサート・マスター

渡邊 穰 ～ヴァイオリン～

東京芸術大学卒業。同大学院を中退し、渡独。1980年、ダルムシュタット歌劇場管弦楽団の首席奏者を経て、カッセル歌劇場管弦楽団の第2コンサートマスター。84年～95年までゲルゼンキルヒェン歌劇場管弦楽団の第1コンサートマスター。ソリストとしても多数の音楽家と共演。93年ウエーバー音楽賞受賞。95年帰国。2010年第28回京都市文化賞功労賞を受賞。故郷見三郎、故郷東龍夫、海野義雄、ミッシェル・シュバルベ、ティボール・ヴァルガの各氏に師事。現在、京響コンサートマスター。



西側 栞里子 ～ソプラノ～

大阪音楽大学を卒業後、イタリア国立ミラノ・ヴェルディ音楽院声楽科にて学ぶ。8年間にわたりアンナ・マリア・カステリオーニ、サラ・コルティ、ダンテ・マッツォーラの各氏の下で研鑽を積み、イタリア各地で留学中からオペラ「トスカ」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「ノルマ」等への出演をはじめ、コンサートの分野でも、イタリア各地にて豊富な実践経験を重ねた。帰国後も、「蝶々夫人」「椿姫」のタイトルロールの出演回数を重ね、「マクベス」、「ラ・ボエーム」、「こもり」、「フィガロの結婚」、「魔笛」、「ヘンゼルとグレーテル」、「ジャズオペレッタ・フリン伝習録」関西初演ソリスト出演等のほか、「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」、「第九」のソリストとしても活動し、リサイタルを各地で開催するなど、表現に説得力あるイタリア・オペラを中心にレパートリーの幅を広げている。オーケストラでは京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、大阪シンフォニカー交響楽団、アンサンブル神戸とオペラ曲、宗教曲等で共演。海外公演では2013年2月ウクライナ・チェルニーゴフ・フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会にソリストとして招かれ首都キエフ、チェルニーゴフの2都市での公演に出演、2013年10月には韓国・順天湾国際庭園博覧会記念 韓・日芸術文化祭にてソリストとして出演した。また日本語の歌にも定評があり、CD「日本歌曲 第8集」（ファウエム・ミュージック・コーポレーション社）には團伊玖磨の歌曲作品が収録されている。混声合唱団大阪グリーン・エコー副指揮者及びヴォイストレーナー、混声合唱団コール・アスニー指揮者、女声合唱団コール・エトワール指揮者。関西二期会、神戸波の会各会員。



呉山 平煥 ～オーボエ～

兵庫県西宮市に生まれる。丸山盛三氏（元NHK交響楽団首席奏者）に師事。今津中学校、明星学園高校、早稲田大学を経て、1968年京都市交響楽団に入団。翌年首席奏者となる。1974年9月渡独し、国立ベルリン芸術大学に入学後、カール・シュタインズ教授（ベルリン・フィル）に師事。1983年より2000年まで草津国際音楽祭に参加。1987年度藤堂顕一郎音楽賞受賞。1994年京都芸術祭特別賞受賞。1995年より3年間ユーディ・メニューインの招きにより、アジア・ユース・オーケストラの指導にあたった。海外の演奏家との協演も多く、演奏家・教育者としての評価も高い。1982年より2000年まで同志社女子大学芸学部音楽学科、1987年より2000年まで大阪音楽大学の各講師を歴任。2005年3月京都市交響楽団退団。現在、京都市生涯学習総合センター「アスニーアトリエ」よし笛講師。



西脇 小百合 ～ピアノ～

京都市立堀川高校音楽科（現・京都市立京都堀川音楽学校）を経て東京藝術大学音楽学部卒業。バリエコルノルマル音楽院終了。第43回全日本学生音楽コンクール大阪大会中学校の部第一位。91年京都ピアノコンクール第一位。95年秋田大曲新人音楽祭室内楽部門入賞。99年フランス音楽コンクール第一位、併せて稲畑賞受賞。早くから国内外でラヴェルの全曲演奏に重きを置きながらフランス音楽を中心にソロリサイタルやコンサートを開催し、ソロ・室内楽・伴奏・録音などの分野で幅広く活動している。また多くのマスタークラスやコンクール、講習会の公式伴奏も努めている。これまでに丸山博子、高良芳枝、クラウス・シルデ、ジェルメヌ・ムニエ、クリスティアン・イヴァルディ、浜口奈々の各氏に師事。



佐藤 響 ～チェロ～

京都市立音楽高校を経て京都市立芸術大学を首席で卒業、卒業演奏会に出演。音楽学部賞、並びに京都音楽協会賞受賞。プロジェクトQ、ヴィオラスペース、小澤征爾音楽塾オーケストラ等に参加。これまでに雨田一孝、柳田耕治、野村朋享、上村昇の各氏に師事。現在、関西を中心にオーケストラや室内楽等で活動他、後進の指導にも意欲的にあたっている。